

- 問1 3世紀ごろの中国大陸の情勢と、当時の日本との関わりについて述べた文として、内容が正しいものを一つ選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 秦の王が初めて中国を統一して始皇帝と名乗り、日本を含む周辺地域に大規模な軍隊を派遣した。 | 2. 魏・呉・蜀の三つの国が分立して争っており、邪馬台国の卑弥呼はそのうちの魏に使いを送った。 | 3. 唐が周辺諸国に従える強大な帝国を築いており、日本からは律令制度を学ぶために遣唐使が送られた。 | 4. 隋が南北に分裂していた中国を統一した時期であり、聖徳太子が小野妹子を派遣して交流を深めた。 |
|---|---|---|--|
- 問2 埼玉県の稲荷山古墳から出土した、表面に「獲加多支鹵大王（ワカタケル大王）」という文字が金色の象嵌で刻まれた遺物について、その名称として正しいものを選んでください。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 金印 | 2. 鉄剣 | 3. 埴輪 | 4. 銅鏡 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問3 熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀と、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、いずれも「ワカタケル大王」の名が刻まれていました。この事実から推測される、5世紀ごろの大和政権の勢力範囲に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 大和政権の勢力は、近畿地方とその周辺の非常に狭い範囲に限定されていた。 | 2. 大和政権の勢力は、東北地方から九州南部に至る日本列島のほぼ全域を支配していた。 | 3. 大和政権の勢力は、九州北部から関東地方南部におよぶ広い範囲に広がっていた。 | 4. 大和政権の勢力は、大陸の影響を強く受けていた九州地方のみに限定されていた。 |
|--|--|--|--|
- 問4 縄文時代と古墳時代の出土品の違いについて説明した文として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 土偶も埴輪もどちらも古墳時代の副葬品であり、大仙古墳などの大型古墳から出土する。 | 2. 埴輪は古墳時代に古墳の表面や周囲に並べられたが、土偶は縄文時代に祈りや魔よけのために作られた。 | 3. 埴輪は縄文時代の集落跡から多く出土し、土偶は古墳時代の豪族の墓から出土する。 | 4. 鉄剣や銅鏡は縄文時代から用いられ、土偶は古墳時代になって権力の象徴として副葬された。 |
|---|--|---|---|
- 問5 大和政権の性格について、それ以前の弥生時代の社会状況と比較した説明として、最もふさわしいものはどれか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 近畿地方の豪族が中心となり、各地の有力な勢力と連合することで広域的な政治支配をめざした。 | 2. 特定の女王がまじないなどの呪術的な力を用いて、各地の小国を完全に服従させ、争いを根絶した。 | 3. 銅鐸を用いた共通の祭祀を通じて、各地の小国が独立性を保ったまま、利害関係のない経済圏を築いた。 | 4. 大陸からの渡来人によってもたらされた仏教と文字を政治の基盤として、中央集権的な国家を完成させた。 |
|---|--|--|---|
- 問6 渡来人が日本列島にもたらした技術や文化のうち、当時のヤマト政権（大和朝廷）が組織を運営し、他国との交渉を行う上で、特に記録や伝達の手段として不可欠となったものはどれか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------------|-------|-------|
| 1. 機織りの技術 | 2. 須恵器の製作技術 | 3. 漢字 | 4. 仏教 |
|-----------|-------------|-------|-------|
- 問7 世界文化遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群に含まれ、5世紀頃に築造された日本最大の前方後円墳として知られる、当時のヤマト政権の強大な勢力を象徴する古墳はどれか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------------|---------|----------|
| 1. 稲荷山古墳 | 2. 大仙古墳（伝仁徳天皇陵） | 3. 箸墓古墳 | 4. 高松塚古墳 |
|----------|-----------------|---------|----------|
- 問8 古墳時代を代表する、前部が方形（四角形）、後部が円形の形状をした巨大な墳墓の名称として正しいものを選択してください。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|----------|
| 1. 円墳 | 2. 方墳 | 3. 装飾古墳 | 4. 前方後円墳 |
|-------|-------|---------|----------|
- 問9 古墳時代に大陸からの渡来人がもたらした技術や文化について、当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 表面に縄目の文様を施し、食料を煮炊きするための厚手の土器が各地で作られた。 | 2. 仏教が伝来し、寺院の屋根を飾るための瓦を焼く技術が初めて日本列島に導入された。 | 3. 木製農具や石包丁を用いた水田稲作とともに、赤褐色で薄手の土器が広まった。 | 4. 山の斜面を利用した穴窯を築き、高温で焼き上げる硬質の須恵器の製法が伝わった。 |
|--|--|---|---|
- 問10 3世紀ごろの中国大陸では、複数の勢力が対立して覇権を争っていました。この時期、日本の邪馬台国の女王である卑弥呼が使いを送り、「親魏倭王」の称号を授かったとされる国が含まれる時代の名称を選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|---------|----------|
| 1. 三国時代 | 2. 五代十国時代 | 3. 戦国時代 | 4. 南北朝時代 |
|---------|-----------|---------|----------|
- 問11 5世紀ごろ、大和政権（ヤマト王権）の支配が関東地方や九州地方まで及んでいたことを示す歴史資料があります。埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に、その名が刻まれていた人物として正しいものを選びなさい。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|------------|--------|
| 1. 聖徳太子 | 2. 中大兄皇子 | 3. ワカタケル大王 | 4. 卑弥呼 |
|---------|----------|------------|--------|
- 問12 古墳時代から奈良時代にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、当時の日本に新しい文化や技術を伝えた人々を何と呼びますか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 遣唐使 | 2. 南蛮人 | 3. 防人 | 4. 渡来人 |
|--------|--------|-------|--------|
- 問13 4世紀から7世紀頃、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移り住み、須恵器の製作技術や漢字、仏教などを伝えた人々を何と呼ぶか。 (2023年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1. 御家人 | 2. 遣隋使 | 3. 渡来人 | 4. 防人 |
|--------|--------|--------|-------|
- 問14 古墳時代の中期ごろ、朝鮮半島から伝えられた技術によってつくられるようになった、高温の窯で焼かれた硬質の灰色の土器を何といいますか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|--------|
| 1. 弥生土器 | 2. 須恵器 | 3. 縄文土器 | 4. 土師器 |
|---------|--------|---------|--------|
- 問15 古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。 | 2. 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。 | 3. 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。 | 4. 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。 |
|---|---|---|---|